

■ 『人・もの・地域』と出会い、ふれあい、高め合おう！（草津第二小学校）

1 【活動の趣旨】

スローガンとして、「『人・もの・地域』と出会い、ふれあい、高め合おう！ ～地域と協働し活力のある学校をめざして～」を掲げ、各学年や全校で地域や保護者の方々と協働でさまざまな活動に取り組んでいる。また、本校では道德教育に力を注いでおり、「豊かな心」を養う実践的な学びの場として、地域に出かけて活動することや、地域の方々を学校に迎えて活動することを大切にし、地域とともにある学校・子どもを目指している。

2 【特徴的な活動内容】

○6年生 平和学習

6年生では、11月に実施する広島への修学旅行を軸に、1学期から平和学習を行っている。滋賀県や草津市の地元にも目を向けて、学びを深めている。

6月には滋賀県平和祈念館から講師を招いて出前授業をしていただいた。写真や映像、実物資料をもとに滋賀にまつわる戦争の記録についてお話をうかがった。

また、修学旅行を終えてからは、校区内にお住まいの98歳の方をゲストティーチャーに迎え、学徒兵として入隊し、ビルマで戦争を体験されたことや当時の草津の様子についてお話をうかがった。生きるか死ぬかの恐ろしい体験を「地獄のようだった」と語られ、子どもたちへ平和への願いを伝えてくださった。

○1・2年生 防災教育〔ナインイヤーズプラン〕

「幼い時から防災への意識を高めたい」という願いを西消防署と共有して、低学年対象の防災教育を実施した。マスコットキャラクター「らいくん」が講師となり、地震が起こったら頭を守ること、火事が起こったら呼吸確保のために姿勢を低くして移動することなどを教えていただいた。その後、煙の中を移動する活動をして、命を守るための行動ができるよう体験的に学んだ。



【戦争体験者からのお話】



【ナインイヤーズプラン】

3 【実施に当たっての工夫】

地域コーディネーターと連携して、地域の方（滋賀県平和祈念館、戦争体験者、西消防署）へ早めに連絡をとり、スムーズに実施できるようにした。戦争体験者のお宅には地域コーディネーターが何度も打合せに伺い、有意義な学びができるよう努めた。

4 【事業の成果】

- ・戦後70余年が経ち、戦争体験者から話を聞く機会を持つことが困難になる中、校区に住む出征体験者から直接お話を聞いて学べたことは、貴重な機会・成果となった。
- ・防災教育の充実が望まれている今、新たな教育活動ができたことは大きな成果である。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・様々な施設・機関と連携を深めて、これまでの活動の見直しと一層の充実をめるとともに、上記事例のように新たな学習活動の創造にも取り組んでいきたい。